

日本女性学会2016年大会シンポジウム

『女性活躍推進法』時代の女性学・ジェンダー研究

2016年6月18日(土) 13:00～16:30

明治学院大学白金キャンパス 港区白金台1-2-37

JR品川駅・目黒駅よりバス 地下鉄白金台・白金高輪台・高輪台下車徒歩7分

<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/>

参加費:一般1,000円 会員500円

女性差別撤廃条約批准、男女雇用機会均等法施行から30年余、この間女性の労働力率は上昇し続けてきた一方、女性間の格差、とりわけ雇用形態による格差が拡大してきました。ケア役割・再生産労働負担は女性に偏在したままです。そして今年4月、女性活躍推進法が施行されました。シンポジウムでは、中野円佳さん、杉田真衣さんに、“エリート女性”、“ノンエリート女性”それぞれの状況や困難を提示頂き、清末愛砂さんに、女性活躍推進法がこうした女性たちの状況に何をもたらすのか、また、現行の政策状況全体の中で女性活躍推進政策がもつ意味を解説して頂きます。女性活躍推進法時代、ジェンダー平等社会実現のために女性学・ジェンダー研究は何をすべき／できるか、課題と可能性を論じます。参加をお待ちしています！

プログラム

女性活躍推進で何が起きているか～「育休世代のジレンマ」からの脱出戦略～

中野 円佳 (女性活用ジャーナリスト/研究者
株)ChangeWaveダイバーシティ&インクルージョン)

高卒女性たちの労働と生活を追って

杉田 真衣 (金沢大学)

女性の活躍推進法時代の女性学・ジェンダー研究の課題

清末 愛砂 (室蘭工業大学)

コーディネイター 古久保さくら(大阪市立大学)、内藤 和美(芝浦工業大学)

6月19日(日) 個人研究発表 パネル報告 ワークショップ

日本女性学会

227-0023 千葉県市川市南八幡1-16-24

TEL047(370)6068

E-mail:toiawase@joseigakkai-jp.org

URL:<http://joseigakkai-jp.org/>